

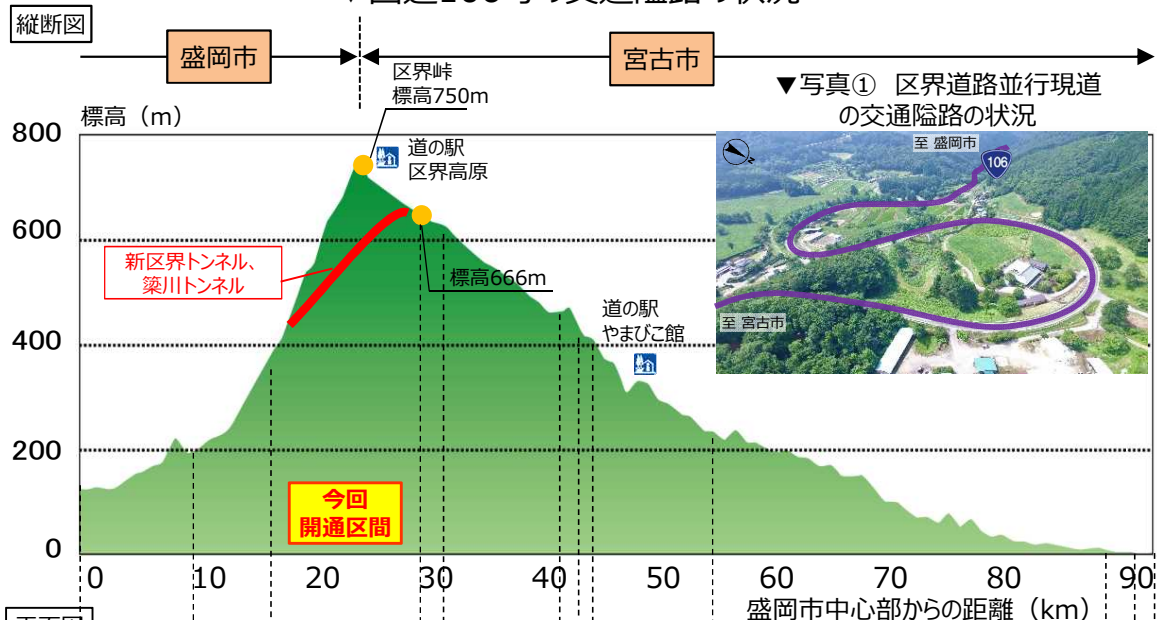
宮古盛岡横断道路 区界道路 位置図



安全・安心な走行を支援

- ◆ 並行する区界峠は国道106号の中で急カーブ・急勾配が最も多く、冬期には重大事故の危険性が高いなど、最大の難所となっている。
- ◆ 国道106号沿線地域の救急搬送では約9割の管外搬送先が盛岡市を占めており、盛岡市と宮古市を結ぶ重要な路線となっている。
- ◆ 今回の開通により、並行現道区間の急カーブ・急勾配箇所を回避し、迅速かつ安定した救急医療活動を支援。

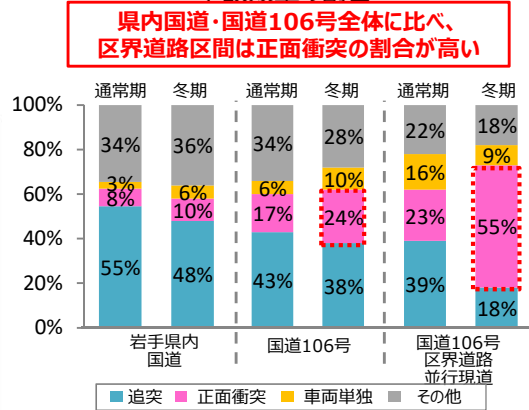
▼国道106号の交通隘路の状況



▼写真① 区界道路並行現道の交通隘路の状況



▼岩手県内国道及び国道106号の事故類型の割合



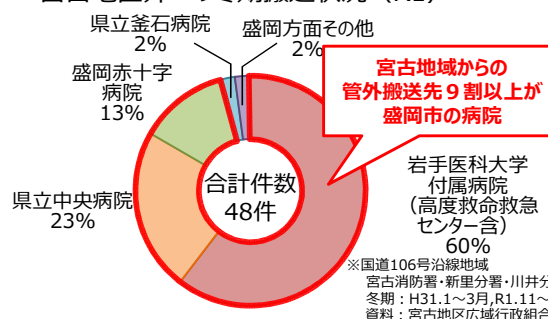
▼冬期の視程障害の状況



▼国道106号を走行する救急車



▼宮古市内国道106号沿線地域の宮古地区外への冬期搬送状況 (R1)



▼道路整備による所要時間の短縮効果



《病院・消防の声》

- ・今回開通区間の整備により、岩手医科大学付属病院等へのアクセシビリティ・走行性が向上することで、**迅速で安定した救急活動が期待**できます。
- ・冬期の区界峠はより注意した搬送となるため、**安定走行が求められます。**
(R2.9 宮古地区広域行政組合宮古消防署 川井分署 ヒアリング結果)
- ・開通によって、**時間短縮による迅速な救急医療の実施を期待**しています。
- ・特に冬期は慎重な運転となるため、**運転手のストレス軽減が期待**できます。
(R2.9 岩手医科大学付属病院【高度救命救急センター】ヒアリング結果)



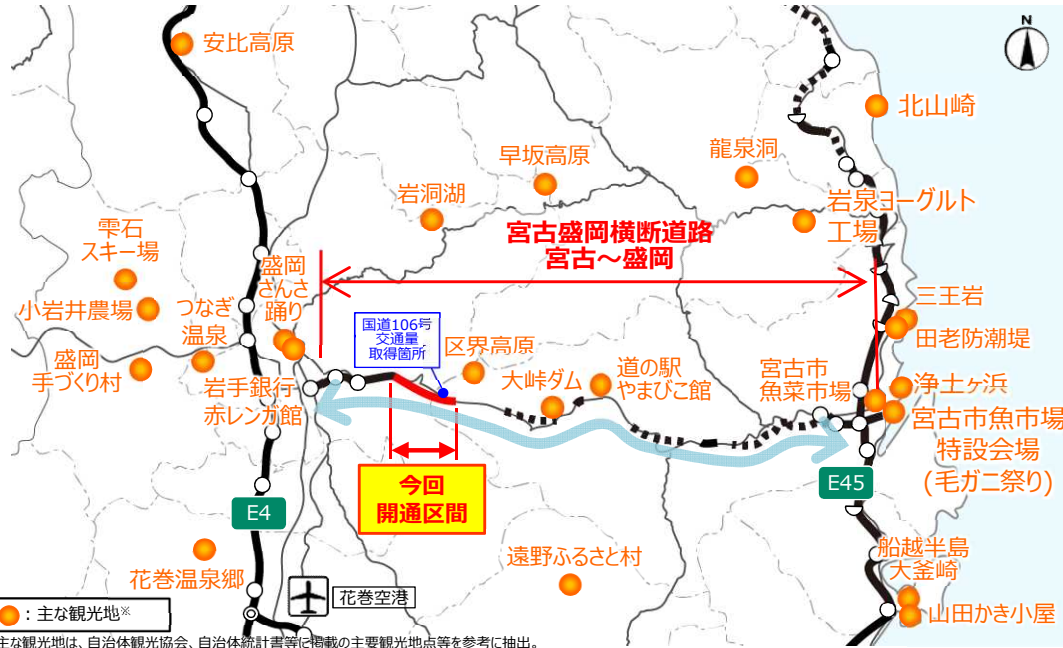
※急カーブ・急勾配は、設計速度60km/hにおける限界値を超えている箇所・区間を計数
急カーブ：R<150m 急勾配：I>5.0%

今回開通区間
急カーブ箇所数：21箇所 ⇒ 0箇所
急勾配箇所数：7箇所 ⇒ 0箇所

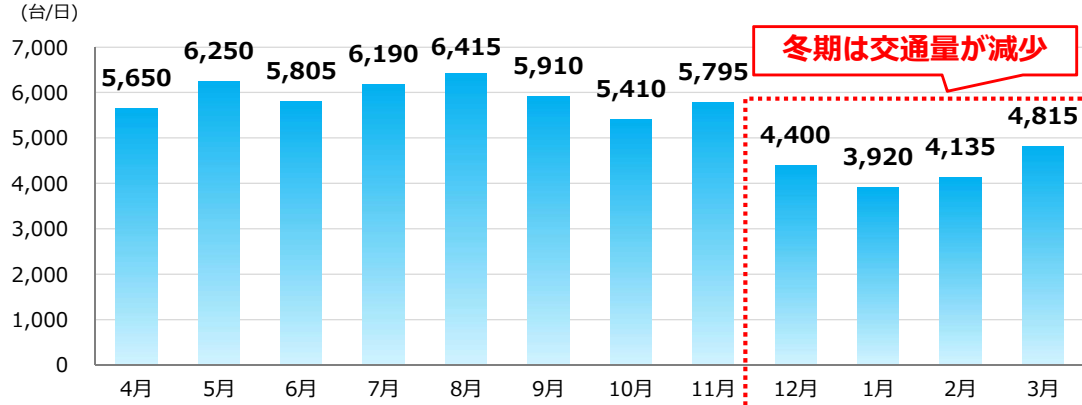
内陸と沿岸を結ぶ観光流動を支援

- ◆岩手県は宮古市などの沿岸部や、盛岡市などの内陸部に観光資源が多く立地し、国道106号が内陸と沿岸を結ぶ重要路線。
- ◆国道106号を観光目的で利用する際の問題・課題の3番目に「冬期の走行性悪化」が挙げられ、冬期（12～3月）の交通量が減少。
- ◆区界道路を含めた宮古盛岡横断道路の開通により、内陸と沿岸地域を結ぶ冬期の観光流動を支援。

▼国道106号周辺の主要観光地

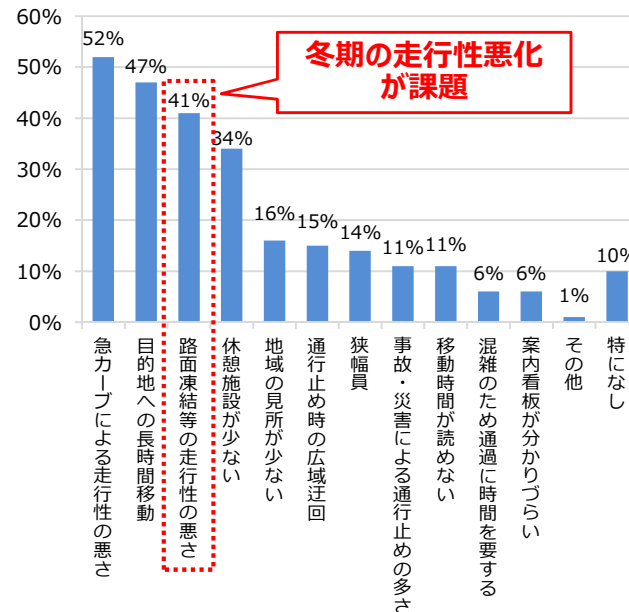


▼国道106号 断面交通量（休日）



資料：「断面交通量情報」（公益財団法人日本道路交通情報センター）、H30～R1年度平均

▼国道106号（宮古盛岡横断道路）を観光目的で利用する際の問題・課題



《各観光関係者の声》

- ・開通により、内陸と沿岸の交流人口の促進や内陸からの誘客に期待しています。特に冬期の走行不安が解消され、来やすくなると思います。
- ・毛ガニ祭り等のイベントや震災学習についても利用客増加に期待しています。

(R2.9 宮古観光文化交流協会 ヒアリング結果)

- ・現状では沿岸部からの入込は少ないですが、開通により沿岸部からの個人誘客拡大が期待できます。
- ・沿岸部は雪が少ないので、冬期イベント等への入込みが期待できます。

(R2.9 内陸観光地 ヒアリング結果)

▼つなぎ温泉（盛岡市）



写真：岩手県観光ポータルサイト

▼宮古毛ガニ祭り（宮古市）



写真：岩手県観光ポータルサイト

▼小岩井農場（雫石町）



写真：岩手県観光ポータルサイト

▼田老防潮堤（震災学習）（宮古市）



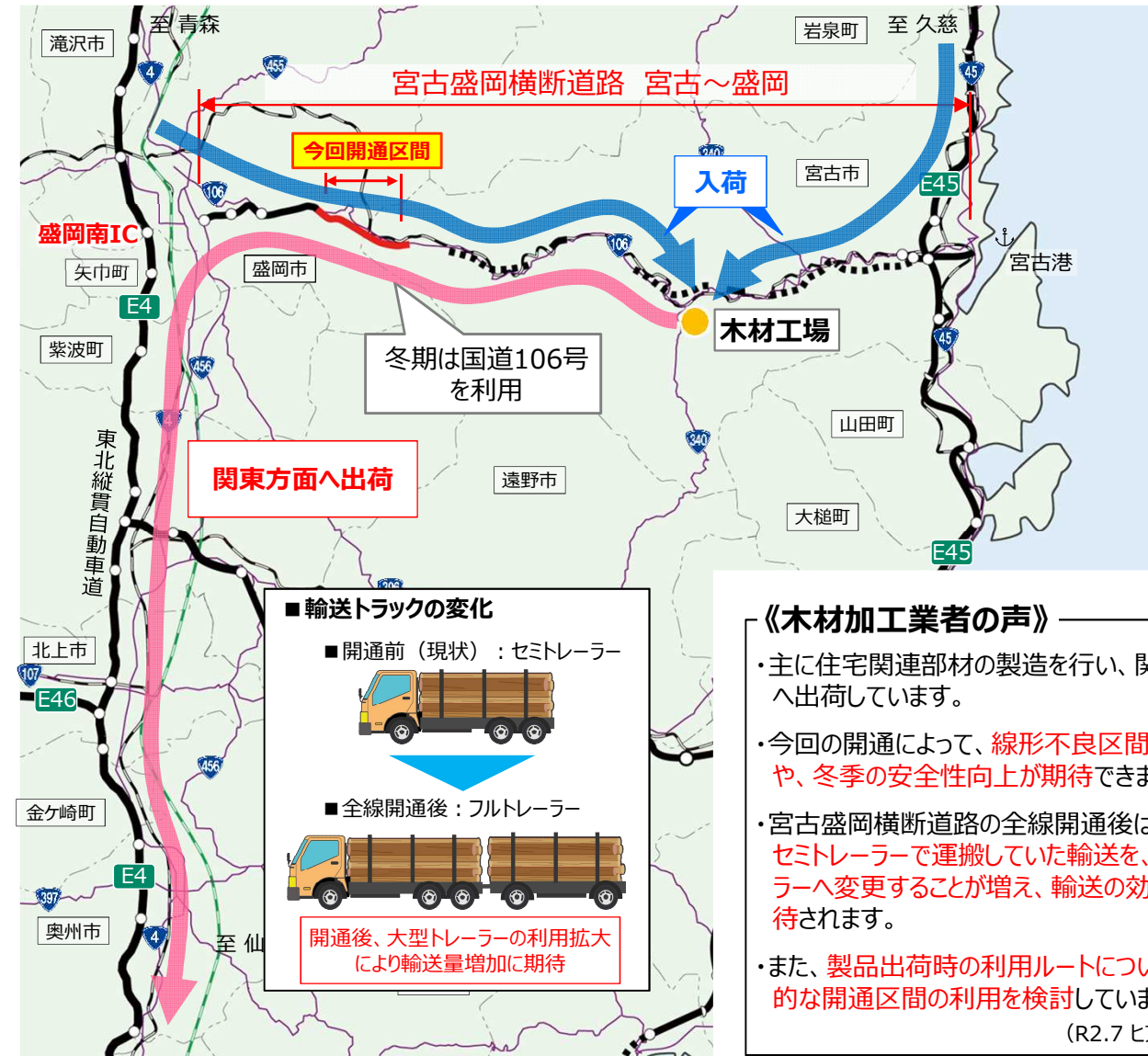
写真：国土交通省、震災伝承施設HP

資料：H30観光WEBアンケート調査（N=140）

物流の効率化による地域産業の振興を支援

- ◆岩手県の構造用集成材出荷量は全国2位、宮古市では木材・木製品の製造品出荷額等が年々増加傾向（県内シェア約3割）。
- ◆宮古市の木材加工業者では、国道106号を利用して搬入された木材を加工し、関東方面へ出荷。
- ◆今回の開通により、速達性・安定性が向上、大型トラックでの輸送が増加し、輸送効率化による地域産業の振興を支援

▼国道106号を利用した木材の入出荷ルート

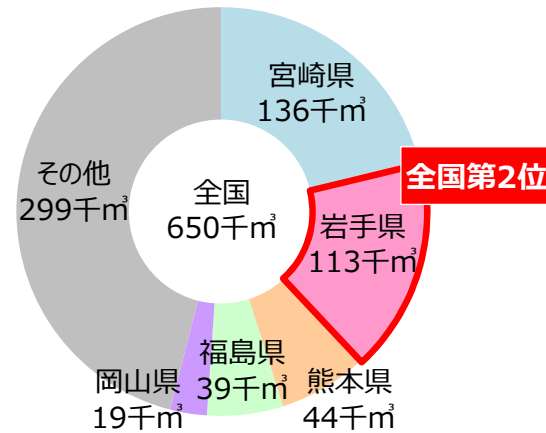


《木材加工業者の声》

- ・主に住宅関連部材の製造を行い、関東方面へ出荷しています。
- ・今回の開通によって、線形不良区間の解消や、冬季の安全性向上が期待できます。
- ・宮古盛岡横断道路の全線開通後は、今までセミトレーラーで運搬していた輸送を、フルトレーラーへ変更することが増え、輸送の効率化が期待されます。
- ・また、製品出荷時の利用ルートについて、日常的な開通区間の利用を検討しています。

(R2.7 ヒアリング結果)

※ 構造用集成材出荷量（国産材）



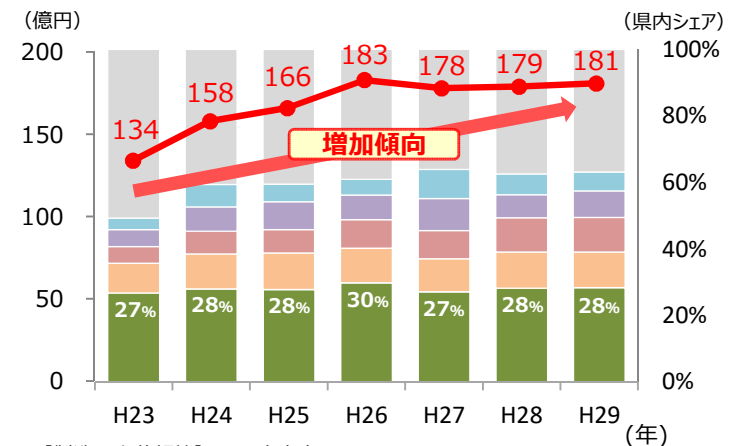
※構造用集成材とは
・構造耐力を目的とした部材で、ひき板をその繊維方向を互いにほぼ平行にして積層接着したもの。



出典：公益財団法人 日本合板検査会

資料：H28木材統計調査

▼宮古市の木材・木製品製造業（家具を除く）の製造品出荷額等と岩手県内シェア推移



資料：各年工業統計
※H29の岩手県内上位5都市を表示